

遺産・個人信託管理サービス – よくある質問 (FAQ)

これらの質問は、公的後見人・受託者協会 (PGT) が提供するサービスと、ブリティッシュコロンビア州における遺産管理に関する概要を説明します。

PGT の遺産・個人信託サービスの管理サービスは、遺産・個人信託管理サービス部 (Estate and Personal Trust Services (EPTS)) が担当しています。

EPTS のサービスに関する詳細は、下記のリンクをクリックしてください。

- [遺産管理](#)
- [個人信託管理](#)
- [行方不明者の管理](#)
- [PGT 教育援助資金](#)

FAQ – PGT の役割

- [遺産を管理してもらうために、PGT にどのように委託したらいいですか？](#)
- [PGT に遺産の管理をしてもらえない時はどうなりますか？](#)
- [遺言状を作成せずに亡くなった \(母\) の遺産を私の \(弟\) に管理させたくありません。どうしたら \(弟\) を思いとどまらせることができますか？ PGT に引き受けてもらえますか？](#)
- [無遺言相続人または受益者の一人が精神的無能力の成年者もしくは未成年者です。この場合 PGT が関与できますか？](#)
- [PGT に遺言執行人担ってもらえるように頼めると聞きました。どうすればいいですか？](#)

遺産の無遺言相続人を捜す

- [PGT は管理する遺産の無遺言相続人をどのように探し出しますか？](#)
- [遺産の一部と引き換えに、相続に関する情報を教えてくれる人の申し出に対してはどのように対処すればよいですか？](#)
- [遺産の無遺言相続人だと主張する人が合法的な請求権を持っているかどうか、PGT はどのように判別しますか？](#)

- **PGT が遺産の無遺言相続人を見つけられなかった場合どうなりますか？**

FAQ – 遺産と信託管理についての一般的な質問

注意 – ここに記載の**よくある質問**は遺産管理についてよく尋ねられる質問に関する一般的な内容を説明するものです。あなたが管理する遺産、もしくは関与している遺産について特定の質問がある場合は、弁護士に相談するなど法的助言をお求めください。

遺産を管理する

- **遺産管理をする場合、具体的に何をしますか？**
- **BC 州では検認にいくらぐらい費用が掛かりますか？**
- **遺言執行人と管理人の違いは何ですか？**
- **受益者と無遺言相続人の違いは何ですか？**
- **遺言状がない場合、誰が遺産管理をしますか？**
- **誰が遺産の管理をしているのか、どうすればわかりますか？**
- **遺産を管理する上で、誰が配偶者とみなされますか？**
- **一人以上が配偶者の定義に当てはまる可能性はありますか？**

遺言状について

- **遺言状を作成できるのは誰ですか？**
- **遺言状で執行人に指名されていますが、この役目を引き受けたくありません。引き受けなければいけませんか？**
- **たしか遺言状があったと思うのですが、どこにしまってあるのかわかりません。その場合、どうしたらよいですか？**
- **故人は遺言状を作成しましたが登録はしませんでした。遺言状に効力を持たせるためには、登録が必要ですか？**
- **自分は遺産の受益者だと思うのですが、遺言状の内容はどうすればわかりますか？**
- **遺言執行人に任務を始めるよう促すにはどうしたらよいですか？**
- **遺言執行人もしくは管理人が遺産の管理に不正を行っていたら、どうしたらよいでしょう？**

葬儀の手はずを整え、葬儀代を支払う

- **葬儀の手はずを整える権利を持つのは誰ですか？**
- **葬儀代を賄えません。どんな金銭的援助を利用できますか？**

故人の所有財産に対処する

- **すべて共同名義になっています。遺産は検認または管理承認が必要となりますか？**
- **故人の資産は少額の銀行預金と 2 カ所からの各々約 500 ドルの小切手があるだけです。どうしたらよいですか？**
- **故人の車を売る必要があります。これだけが全財産です。どうすればよいですか？**
- **故人はペットを飼っていましたが、ペットの引き取り手がいません。どうしたらよいですか？**
- **故人が住んでいた家から家財を盗まれないようにするにはどうしたらよいですか？**
- **故人の資産が BC 州外にもあることが分かりました。どう対処したらよいですか？**

債権者や家主に対処する

- **故人はクレジットカードに多額の未払金があるようで、過度の発行者が親族に支払いを求めて圧力をかけています。親族は払う義務がありますか？**
- **故人は私から借金をしていました。返してもらうために何かできることはありますか？**
- **家主は故人の家財を即時運び出すように要求しています。どうしたらよいですか？**
- **私は家主で、借家人の一人が死亡しました。どうしたらよいですか？**

遺産に対する権利と請求

- **別居した配偶者の権利にはどのようなものがありますか？**
- **事実婚の配偶者の権利にはどんなものがありますか？**
- **遺言状がない場合、誰が遺産を相続しますか？**

他のよくある質問

- 私の（母）は死亡するまで数年入居していた介護施設へ遺産を残しています。こういうことはできるのですか？

行方不明者

- 弟が数年前に行方が分からなくなりました。一人で釣りに行ったまま帰ってきませんでした。きっと死んでしまったのじゃないかと思っています。弟あての請求書が来ています。弟の車は私の家のガレージに入ったままで、銀行には預金があります。警察はできることはすべてしたといっています。私はどうしたらよいですか？

援助を求められる機関

- 私には弁護士がいません。遺言状や遺産の管理などについて相談できる場所はありますか？

PGT の役割

遺言執行人、無遺言相続人、受益者、もしくは他の遺産管理の資格がある人が進んで遺産を管理できないとき、PGT は遺産の管理を行うことができます。PGT は適切な状況下において遺言状で遺言執行人になることに同意する場合があります。

遺産を管理してもらうために、PGT にどのように委託したらいいですか？

遺産の管理を PGT の遺産・個人信託管理サービス部へ委託を希望する遺言執行人、無遺言相続人、受益者は、委託書を提出する前に EPTS に連絡し、ぜひ担当官と相談してください。検視局、病院、保健局、RCMP などのサービス提供者が委託書を提出する場合、直接 604.660.0964 ヘファクスで送信してください。オンラインで EPTS の委託書をダウンロードするには[こちら](#)をクリックしてください。

PGT に遺産の管理をしてもらえないときはどうなりますか？

PGT は必ずしも委託を受けたすべての遺産の管理を引き受けるわけではありません。たとえば、資産が葬儀費用、事務管理費、PGT の手数料をまかなうだけの資金がない場合は管理を引き受けません。このような場合で、遺言執行人もしくは近親者がいない場合、州政府の葬儀サービスプログラムへ照会を行い、そちらで個人の葬儀の手は

ずを整えます。資産が十分ないために PGT が管理できない遺産管理にあなたが関わっている場合、[Service BC](#) へお問い合わせください。サービス BC は最寄りの社会開発・社会革新省〔Ministry of Social Development and Social Innovation〕の出張所を紹介しますので、そちらで「葬儀サービスプログラム」を依頼してください。

遺言状を作成せずに亡くなった（母）の遺産を私の（弟）に管理させたくありません。どうしたら（弟）を思いとどまらせることができますか？ PGT に引き受けてもらえますか？

PGT は遺産の管理依頼を検討します。一般的に PGT は無遺言相続人のすべてもしくは過半数の同意を必要とします。裁判所は、事前に同意書が作成されていない限り、PGT を管理者に選任することはできません。

[遺言状・遺産・相続法〔Wills, Estates and Succession Act〕](#)では遺言状が作成されていない場合、遺産管理の承認申請者の順位を定めています。遺産管理人候補に不安がある場合は、法的助言を求めてください。

無遺言相続人または受益者の一人が精神的無能力の成年者もしくは未成年者です。この場合 PGT が関与できますか？

未成年者の権利を保護するために、未成年者が無遺言相続人または遺産の受益者である時は、検認または管理承認の申請を行う人は、通常未成年者の後見人と PGT に通知しなければなりません。精神的に無能力な成年者の権利を保護するために、本人が無遺言相続人または遺産の受益者である時は、検認または管理承認の申請を行う人は、通常財産管理人と PGT に通知しなければなりません。財産管理人が選任されていない場合、通知は PGT と本人に出します。詳細は [PGT の権限申請審査サービス〔Grant Application Review Services〕](#) をご覧ください。

PGT に遺言執行人になってもらえるように頼めると聞きました。どうすればいいですか？

PGT は遺言状の執行人になることに同意することもあります。大概の人は親しい親族または信頼のおける友人を選任します。弁護士、信託会社、PGT などの管理の専門家を選びたい人もいます。PGT を遺言執行人に選任したい場合、PGT に依頼するのが本当に良い選択肢なのか、また PGT にあなたの遺言執行人の役目を引き受けてもらえるのかどうかを相談するために[遺産・個人信託管理サービス部〔Estate and Personal Trust Services〕](#)へお問い合わせください。

[遺産の無遺言相続人を捜す](#)

PGT は管理する遺産の無遺言相続人をどのように捜し出しますか？

PGT は遺産を管理するとき無遺言相続人を捜し出す十分な努力を行います。このプロセスは故人の個人記録の調査や、故人と関係のあった、たとえば介護者、関係者、友人などの人々との面談をすることから始められます。この方法で近親者がいることが判明し所在が確認されたら、誰に法的な相続権があるかを定めることは比較的容易なことです。PGT は近親者である可能性のある人物に連絡をつけ、その人の身元と故人との関係を証明するもの入手するために当該人物と協力します。

多くの場合、近親者を見つけ、所在の確認をすることはたいへん難しくなっています。PGT は近親者の所在を突き止める通常の手段を使いつくしたとき、故人の家系図を記録するために専門の系図学者や調査員を依頼することがあります。これらの専門家は、出生、婚姻、死亡記録などの検索、他のデータベースや記録の検索、さらに近親者についての情報を持つ可能性のある人々や官庁への問い合わせなどさまざまなテクニックを用います。無遺言相続人の調査はカナダ国内だけに留まらず関連諸国も対象となります。PGT がこの種の調査に専門家を依頼する場合、専門家の費用は遺産の中から支払われます。

遺産の一部と引き換えに、相続に関する情報を教えてくれる人の申し出に対しては、どう対処すればよいですか？

遺産の無遺言相続人を見つけるために PGT が契約している専門家は、あなたに遺産の一部をあきらめることを条件とする同意書に署名を求めることは絶対にありません。

相続資格があることを知らない人を、仕事として見つけ出す相続人追跡調査人と呼ばれる人がいます。相続人追跡調査人は、相続人が相続財産にアクセスするために必要な情報の提供や、相続財産を受け取るための代理業務を行う前に、多額の「斡旋手数料」を要求します。PGT が管理する遺産を相続するために「相続人追跡調査人」を依頼する必要はありません。PGT は、PGT 管理の遺産の法的な無遺言相続人の所在を確認する努力を行います。

PGT が管理している遺産に相続権利があるはずだと思うが、確証がない時は、PGT へお問い合わせください。その場合、故人のフルネームと故人との関係について詳しい事柄を PGT に知らせる必要があります。PGT はあなたが無遺言相続人である可能性があるかどうかの判断の支援をいたします。PGT はこれに関して料金を請求しません、あなたが無遺言相続人の可能性があるかと判明したら、PGT の担当者は遺産相続の権利を証明するために何が必要かを説明いたします。

遺産の無遺言相続人のだと主張する人が合法的な請求権を持っているかどうか、PGT はどのように判別しますか？

PGT は、無遺言相続人と主張している人より血縁の濃い親族がいないということと、無遺言相続人の身分証明書が故人との関係を証明するのに十分であるという、ある程度の確証を持たなければなりません。PGT は故人の家系図を確認し、世代間のつながりすべてに裏付けを得ることにより根拠を証明します。幹部スタッフが文書の審査・検証を行ってから遺産は分与されます。

PGT が遺産の無遺言相続人を見つけられなかった場合はどうなりますか？

PGT は管理する遺産すべての無遺言相続人の所在を確認する努力を行います。PGT が無遺言相続人の所在を確認できないときは、遺産の全部もしくは一部を BC 所有者不明財産協会 (BC Unclaimed Property Society) へ移転することがあります。あとになって無遺言相続人が名乗り出てきたら、その無遺言相続人は BC 所有者不明財産協会へ直接請求することができます。

遺産と信託管理についての一般的な質問

ここに記載の**よくある質問**は遺産管理についてよく尋ねられる質問に関する一般的な内容を説明するものです。あなたが管理する遺産、もしくは関与している遺産について特定の質問がある場合は、弁護士に相談するなど法的助言をお求めください。

遺産を管理する

遺産を管理する場合、何をしなければなりませんか？

遺産の管理をするときにしなければならないことを簡単に説明すると次の通りです。

- 葬儀の手はずを整える
- 資産の確認、保護、処理を行う
- 裁判所から権限を取得する
- 税の申告を行う
- 根拠ある負債、請求の確認と支払いを行う
- 正当な無遺言相続人および受益者に対し、遺産の残額の分配を行う

詳細にわたる正確な記録を必ず保存し、無遺言相続人または受益者から求められた場合、提示しなければなりません。遺産の管理をすべて終えるには 2 年以上かかることがよくあります。

トレーラーハウス、不動産、投資などを含まない小規模の遺産については、裁判所の正式な権限を必要とはしません。検証の必要性は、財産を保管している官庁もしくは金融機関の方針によって決められます。

遺産の管理をお考えの場合、セルフ・カウンセラー出版発行の「ブリティッシュコロンビア遺言検認キット[[British Columbia Probate Kit](#)]]」を参考にするか、弁護士と相談してください。

BC 州では検認にいくらぐらい費用が掛かりますか？

BC 州における遺産には、裁判所から権限取得の申し立てを行う時、州に納入しなければならない検認費用がかかります。検認費用についての詳細は[こちら](#)をクリックしてください。

遺言執行人と管理人の違いは何ですか？

違いは、遺産を誰が管理するかを指定した遺言状があるかないかに関連しています。

遺言状がある場合、次の2つの選択肢が適用されます。

- 遺言執行人は遺言状で指名され、役目を行う権利を確認する検認証明書の取得をブリティッシュコロンビア最高裁判所へ申し立てる権利を持っています。
- 遺言状で指名されている遺言執行人が故人より先に死亡した場合、または役目を断った場合、受益者の一人が遺言状付帯の遺産管理承認書を取得することにより管理人として選任してもらうことを裁判所に申し立てることができます。

遺言状がない場合、ブリティッシュコロンビア州の最高裁判所へ遺言状なしの遺産管理承認書の発行を申請することができ、遺産管理者に選任してもらうことができます。

受益者と無遺言相続人の違いは何ですか？

受益者とは遺言状で指名された財産相続する人です。無遺言相続人とは遺書がない場合、[遺書・遺産・相続法 \[Wills, Estates and Succession Act\]](#)の条項に従って財産を相続する近親者です。

遺言状がない場合、誰が遺産管理をしますか？

遺言状を作成せずに死亡した場合、[遺書・遺産・相続法 \(Wills, Estates and Succession Act\)](#)は遺産管理の権限を持つ人を定めています。

管理を持つ人の順位は次の通りです。

- 配偶者または配偶者が選任した人
- 子供たちの過半数の同意を得た子、またはその子が選任した人
- 子供たちの過半数の同意を得られなかった子
- 配偶者もしくは子以外の、無遺言相続人の過半数の同意を得た無遺言相続人
- 配偶者もしくは子以外の、無遺言相続人の過半数の同意を得られなかった無遺言相続人
- 裁判所が適任者だと思う人。これには公的後見人・受託者協会（PGT）も含まれる

進んで遺産管理をする責任を引き受けられる近親者がいない場合、PGT は遺産の査定を行ってから、PGT のサービスが必要と判断した場合、遺産の管理を引き受けます。

遺産の推定総額が葬儀代や PGT の手数料をまかなえない場合、PGT は遺産の管理を行いません。

誰が遺産の管理をしているのか、どうすればわかりますか？

検認証明書または管理承認書が BC 州で取得申請されているまたは発行されていれば、[裁判所サービスオンライン](#) [Court Services Online] で検索すると、遺産に関する詳細を調べることができます。執行人または管理人の指名を記載した書類を入手するには費用が掛かる場合があります。そのような申請を行うのは死亡後かなり時間がたっていること（1 年余り経過していることがよくある）、そして多くの BC の遺産は家族が非公式に管理しているため、この役目を実行することを確認する裁判所記録など各種記録が存在していないことを念頭に入れておいてください。

検認証明書または管理承認書の取得申請がされていない場合、誰に遺産に関する責任があるのかの判断が困難になることがあります。当人が BC 州で死亡した場合、その人の死亡日と死亡場所がわかる場合、その人の死亡届、葬儀社、銀行、家族、仕事仲間、近所の人などを通じて誰が遺産管理をしているか分かる場合があります。

遺産を管理する上で、誰が配偶者と見なされますか？

これは[遺言状・遺産・相続法](#)により定められています。互いに婚姻関係を結んでいるまたは婚姻に準ずる関係で 2 年以上同棲している場合、この 2 人が配偶者に該当します。配偶者でなくなるのは、永久に離婚した、または両者もし句をどちらか一方が事実婚関係を解消した場合該当します。

一人以上が配偶者の定義に当てはまる可能性はありますか？

遺言状・遺産・相続法に基づき、一人以上の人が配偶者の定義に当てはまることはあり得ます。これに当てはまるとき、誰が葬儀の手はずを整えたり、遺産を管理したり相続する権利があるかについて対立が発生する懸念がある場合、法的助言を求める必要が出ます。

遺言状について

遺言状を作成できるのは誰ですか？

遺言状・遺産・相続法では 16 歳以上の遺言能力のある人なら誰でも遺言状を作成できると規定しています。

遺言状で執行人に指名されていますが、この役目を引き受けたくありません。引き受けなければいけませんか？

管理に着手していなければ、権利を「放棄」することができ、これにより受益者が「遺言状付帯の遺産管理承認書」の申請を行う人を決めることができます。**遺言状・遺産・相続法**では申請できる人の順位を定めています。

PGT に遺産の管理を依頼したいとお考えの場合、PGT が依頼を引き受けるかどうかの相談は遺産・個人信託管理サービス部(Estate and Personal Trust Services)へお問い合わせください。遺言執行人が遺産の管理を PGT の遺産・個人信託管理サービス部 (EPTS) へ委託を希望するときは、委託書を提出する前にぜひ EPTS の担当官と相談してください。同部へ E メールでの連絡は estates@trustee.bc.ca へ。

管理に着手している場合、裁判所は引き続きあなたが管理することを義務付ける可能性があります。そのような状況の時は、法的助言を求めてください。

たしか遺言状があったと思うのですが、どこにしまってあるのかわかりません。その場合、どうしたらよいですか？

- 遺言状が **BC 人口統計局(BC Vital Statistics)** に登録してあるかどうかチェックしてください。
- 故人が住んでいた自宅を探します。弁護士、葬儀場、銀行の貸金庫に関連するすべての書類や名刺類をくまなく探します。
- 故人の取引していた銀行、弁護士、遺言執行人、フィナンシャル・アドバイザー、親類、親しい友人に保管場所や貸金庫に預けられている書類に関して聞いてみましょう。
- 故人が兵役経験者の場合、軍人遺言書があるかもしれません。カナダ復員軍人省またはカナダ図書・記録保管所へお問い合わせください。

故人は遺言状を作成しましたが登録はしませんでした。遺言状に効力を持たせるには、登録が必要ですか？

登録は必要ありません。皆さんに遺言状の登録をお勧めしていますが、効力を持たせるために登録は義務付けられていません。

自分は遺産の受益者だと思うのですが、遺言状の内容はどうすれば分かりますか？

BC 州では正式な「遺言状の読み上げ」の機会は設けられません。遺言執行人もしくは管理人は検認の申請意思を示す通知を出すことが求められ、遺言状の写しを添付します。通知は指名されているすべての執行人、代替の執行人、遺言状で指名されている受益者、ならびに故人が遺書を作成せずに死亡した場合相続する人すべてに宛てて出さなければなりません。

検認後、遺言状と他の検認関連文書は公となり、写しを裁判所から取得することができます。

特定の遺産に関し BC 州の裁判所から権限が許可されたかどうか知りたい場合、[裁判所サービスオンライン \[Court Services Online\]](#) を検索することができます。

遺言執行人に、任務を始めるように促すにはどうしたらよいですか？

あなたが遺言状で受益者と指名されているにもかかわらず、執行人が遺言状の検認申請を行う通知書をまだ受け取っていない場合、裁判所が 14 日以内の対応を執行人に義務付ける最高裁判所規則の規則 25 – 11 に従って、対処することができます。この手続きは「遺言執行人召喚」と呼ばれています。支援してもらうために弁護士を依頼すべきです。遺言執行人が執行人の選任の放棄（役目をしないこと）を示唆した場合、あなたは遺産管理人に選任してもらえるように裁判所に申し立てることができます。

遺言執行人もしくは管理人が遺産の管理に不正を行っていたら、どうしたらよいでしょう？

あなたが無遺言相続人もしくは受益者である場合、遺言執行人もしくは管理人に遺産に関する会計報告一式の提出を求める依頼状を送ります。無遺言相続人もしくは受益者が執行人もしくは管理者に勘定の承認に関する通知を送達した場合、執行人もしくは管理人は 2 年以内に、または選任後 1 年経過した時点で、裁判所で勘定の承認を受けることが義務付けられています。遺産に関して金銭的利益を持つ人全員が裁判所に出向き、法廷審問で問題点を提起する資格があります。

遺言執行人もしくは管理人が会計報告の提出または勘定の承認を受けるのを拒んだ場合、執行人もしくは管理人に会計報告の提出または勘定の承認を義務付ける命令要請を裁判所に申し立てることができます。この手続きを踏むには弁護士を依頼する必要があります。

あなたは無遺言相続人でも受益者でもありませんが、未成年者または判断能力を欠いた成年者が無遺言相続人もしくは受益者だということを知っており、かつ遺産の取り扱いに関して懸念がある場合、**PGT Grant Application Review Services** へお問い合わせください。

葬儀の手はずを整え、葬儀代を支払う

葬儀の手はずを整える権利を持つのは誰ですか？

火葬・埋葬・葬儀サービス法〔Cremation, Interment and Funeral Services Act〕 の5(1)節は、葬儀の手はずを整える権利を持つ人の順位を定めています。遺言状で指名された個人的な代理人を筆頭に置き、次に故人の配偶者が続き、成人した子、成人した孫、親、成人した兄弟姉妹、成人した姪、甥の順で、最後は最も血縁の濃い近親者となっています。同親等の間の順位は、年長者から年少者へととなります。

葬儀代をまかなえません。どんな金銭的援助を利用できますか？

葬儀代と関連サービスにかかる料金は大幅に異なります。あなたが手配する葬儀や関連サービスの費用はあなたが責任を持って負担しなければならないため、同意書に署名する必要があるときは内容によく注意しましょう。予算と状況に基づいて内容は葬儀屋から説明をうけながら決められます。費用の額は異なりますので、1社以上のサービス提供者から見積もりをもらうことをお勧めします。あなたが遺言執行人または遺産管理をしている近親者の場合、次の事柄を調べてください。

- 故人の銀行口座。妥当な葬儀費用は遺産から支払わねばならない最初の費用です。故人の銀行口座に十分な預金がある場合、銀行は故人の口座から直接葬儀社に支払ってくれます。銀行の責任者と相談し、葬儀費用の支払い請求書を銀行に転送することを確認してください。銀行は故人の口座から小切手を振り出し、葬儀社に送ってくれる場合があります。
- カナダ年金制度は、故人が雇用されていて年金制度に保険料を払い込んでいた場合、死亡給付金を支給します。詳細は**サービスカナダ〔Service Canada〕**をご覧ください。この給付金だけでは葬儀費用の全額を賄うことができないこともあります。

- 死亡の原因が職場での事故によるものである場合、**BC 労働安全協会(Work Safe BC)**の死亡給付金が受けられる場合があります。
- 死亡の原因が犯罪によるものである場合、**犯罪被害者援助協会(Crime Victims Assistance)**から援助が受けられる場合があります。
- 死亡の原因が自動車事故によるものである場合、**ICBC** から給付金が受けられる場合があります。
- 故人の雇用主、労働組合、事業者団体、もしくはクラブは、死亡給付金または葬儀費用に関する規定のある年金制度、給付金制度を整えていることがあります。
- 第2次世界大戦または朝鮮戦争の退役軍人が資金を残さずに死亡した場合、軍曹ラッパ基金が葬儀と最寄りの墓地に墓標を提供してくれる場合があります。退役軍人がロイヤルカナディアン部隊のメンバーであった場合、部隊の会友が依頼があれば葬儀に儀仗兵を送ってくれる場合があります。
- 葬儀サービスプログラムは、故人が葬儀費をまかなえないだけでなく、家族や他の財源からも葬儀費を出ない場合、敬意に満ちた葬儀サービス、埋葬もしくは火葬を行うことがあります。あなたが資産が限られているために PGT が管理できない遺産管理に関与している場合、サービス BC へお問い合わせください。サービス BC は最寄りの社会開発・社会革新省の出張所をご紹介しますので、そちらで「葬儀サービスプログラム」を依頼してください。

故人の所有財産に対処する

すべて共同名義になっています。遺産は検認または管理承認が必要となりますか？

遺産は、すべての資産（銀行口座もしくは不動産）が別の人と共同で所有されている場合で、RRSP、年金、保険証券が受益者を指定されていれば、検認と管理承認は必要ありません。これらの資産は一般的に遺産の一部を構成しないので、生存者もしくは指定されている受益者に通常移転されます。保険金の請求または権原を共同名義の生存者へ移転するために必要な書類については、弁護士または銀行、保険会社、および土地権原局へお問い合わせください。

故人の資産は少額の銀行預金と2カ所から各々約\$500の小切手があるだけです。どうしたらよいでしょう？

大概の銀行や信用組は\$10,000以下の遺産を遺言執行人または近親者へ給付します。銀行は故人の口座に小切手の預け入れに同意することもあります。そして資金を損失補償契約（もし将来遺産に対して請求があった場合、銀行に返済する同意書）に基づいて給付します。遺言状の執行人は同意書を作成します。遺言状がない場合は、遺産を相続する無遺言相続人が**遺言・遺産・相続法(Wills, Estates and Succession Act)**に

従ってそれを行います。銀行は通常損失補償契約を要求せずに葬儀代の支払いに資金を給付します。銀行が必要とする事柄の詳細は金融機関へお問い合わせください。

故人の車を売る必要があります。これだけが全財産です。どうすればいいですか？

Autoplan ブローカーは**自動車法(Motor Vehicle Act)**で定めている譲渡条件を説明し、車の所有権移転の手続きを支援することができます。

故人はペットを飼っていましたが、ペットの引き取り手がいません。どうしたらいいですか？

親戚か最寄りの SPCA にお問い合わせください。どうすればよいか、連絡先などを教えてください。

故人が住んでいた家から家財を盗まれないようにするにはどうしたらよいですか？

あなたには、遺産の執行人もしくは管理人として遺産の資産を保護する責任があります。故人の持ち物が高価なものであれば、次のことをするとよいでしょう。

- 家の鍵を取り換えるなど安全化対策をとる。
- 故人の全資産の目録を写真付きで作し、財産と持ち物に適切に保険がかかっていることを確認する。
- 非常に高価な物はより安全な環境へ移す。
- 隣近所の人にあなたが遺産に関与していることとあなたの連絡先を知らせる。
- 最寄りの警察へ連絡し、財産の保全の援助を求める。

故人の資産が BC 州外にもあることが分かりました。どう対処したらよいですか？

あなたが BC 州外にある資産に対処できるようにするために何が必要かについては、適切な権限を持っている人（遺産執行人、近親者など）か、資産が見つかった場所の弁護士にお尋ねください。

債権者や家主と対処する

故人はクレジットカードに多額の未払金があるようで、カードの発行者が親族に支払いを求めて圧力をかけています。親族は払う義務がありますか？

故人の遺産のみが故人の債務を払う義務があります。遺産の資産と負債のすべてを確認し、さらに負債があった場合それを支払う前に債権者に通知するのに非常に長い時間がかかる場合があります。遺産に支払い能力がない場合、負債は**遺言・遺産・相続法〔Wills, Estates and Succession Act〕**に定められている順に支払います。すべての負債を払うのに十分な資金が遺産にない場合、全く支払いを受けられない人と、一部だけしか支払いを受けられない人ができます。一般的に、連帯保証人または債務の保証をしていない限り、**誰も負債の支払いを肩代わりする義務は全くありません。**

故人は私から借金をしていました。返してもらうために何かできることがありますか？

遺産を管理している人に請求書を送り負債を証明します。執行人もしくは管理人はあなたの請求を承認するかどうかについて通知するはずですが、あなたの請求が拒否される場合、書面による通知を受け取ります。受け取ってから6カ月のうちに法的措置を起こすことができます。管理者があなたの請求の正当性が確定される前に遺産を分与した場合、管理者は個人的に責任を負わねばなりません。負債は**遺言・遺産・相続法〔Wills, Estates and Succession Act〕**に定められている順に支払われなければならないため、あなたの請求が承認されてもあなたが全額払ってもらえる保証にはなりませんし、支払いを受けるまで非常に長い時間がかかる場合があります。

家主は故人の家財を即時運び出すように要求しています。どうしたらよいですか？

家財は故人の遺産の資産です。あなたが執行人もしくは管理人の場合、これらの資産を保護するために（同時に目録を作るために）なるべく早急に運び出すべきです。家財を適切な保管庫へ移すことを考える必要があります。遺産と家主との間の権利と義務は**借家法〔Residential Tenancy Act〕**によって管理されています。詳細**住宅賃貸事務所〔Residential Tenancy Office〕**へお問い合わせください。

私は家主で、借家人の一人が死亡しました。どうしたらよいですか？

誰が遺産の管理権限を持っていて、家財を責任をもって移動できる人を探します。借家人が病院または施設で死亡した場合、その場所に勤務しているソーシャルワーカーへ連絡してください。検視官が関与している場合はその検視官へお問い合わせください。

遺言状がなく、近親者が確認できない場合、病院のソーシャルワーカーまたは検視官は、遺産の管理を要請するために PGT へ委託します。委託後、PGT へお問い合わせください。

遺産と家主との間の権利と義務は**借家法(Residential Tenancy Act)**によって管理されています。詳細は**住宅賃貸事務所(Residential Tenancy Office)**へお問い合わせください。

遺産に対する権利と請求

別居した配偶者の権利にはどのようなものがありますか？

2014年3月31日以前に死亡の場合：一般的に生存している別居中の配偶者は、別居した配偶者が相続権を放棄することを記載した別居合意書または裁判所命令がない限り、遺言状に記載された贈与を受ける権利があります。遺言状がない場合で、配偶者が今後とも別々に離れて住む目的で1年以上別居している場合、相続権はありません。配偶者は、管理人に権限が与えられてから6か月以内に遺産に申し立てを行うことができます。別居中の配偶者の権利についての詳細が必要な時は、法的助言をお求めください。

2014年3月31日以降に死亡の場合：故人が配偶者を執行人または受益者に指名した遺言状を作成している場合で、その後その配偶者が故人が死亡する前に永久的な離婚を目的に別居した場合、その選任および当該配偶者への贈与は無効となります。遺言状がなく、その配偶者が故人が死亡する前に永久的な離婚を目的に別居した場合、別居した配偶者には遺産分与で相続分はありません。別居中の配偶者は**家族法(Family Law Act)**に基づいて権利があるかもしれません。詳しくは弁護士とご相談ください。

事実婚の配偶者の権利にはどのようなものがありますか？

故人の死亡時に故人と一緒に暮らしていて、死の直前まで最低2年間婚姻のような関係で同棲していた（同性の人との結婚しているような関係も含む）人は、葬儀の手配をする、遺産を管理する、相続するなど、法的に婚姻していた配偶者と同じ権利を持っています。

遺言状がない場合、誰が遺産を相続しますか？

2014年3月31日以前に死亡の場合： **遺産管理法(Estate Administration Act)**は（遺言状がない場合）無遺言相続の分与について明記しています。事実婚の配偶者を含む（同性も含む）配偶者、並びに子孫（子、孫など）が遺産を相続すると規定しています。配偶者または子孫がない場合、故人の親が相続します。故人の親が既に死亡している場合、兄弟姉妹および既に死亡している兄弟姉妹の子が相続します。生存している兄弟姉妹がない場合、甥や姪に等しく分配され、上述に該当する人がいない場合、遺産は故人と親しかった、生存している近親者に等しく分与されます。

2014年3月31日以降に死亡の場合： [遺言・遺産・相続法〔Wills, Estates and Succession Act〕](#)に無遺言遺産の分配が明記されています。

他のよくある質問

私の（母）は、死亡するまで数年入居していた介護施設へ遺産を残しています。こういうことはできるのですか？

[コミュニティーケア・介護施設法〔Community Care and Assisted Living Act〕](#)は、故人が入居していた介護施設もしくはその従業員が遺言状で受益者に指名されている場合、その遺産贈与に PGT が書面で同意することを義務付けています。こうすることにより、遺言執行時に遺産贈与がその状況に適合していることを保証するものです。

入居中のまたは入居していた介護施設またはその従業員へ遺産贈与を考えている場合、遺言が正しく執行できるように遺言状の作成について弁護士に相談してください。

遺言状で介護者または介護施設が受益者に指名されている場合の対処の仕方に関する案内は PGT から入手することができます。

行方不明者

弟が数年前に行方が分からなくなりました。一人で釣りに行ったまま帰ってきませんでした。きっと死んでしまったのじゃないかと思っています。弟あての請求書が来ています。弟の車は私の家のガレージに入ったままで、銀行には預金があります。警察はできることはすべてしたと言っています。私はどうしたらよいですか？

本人が死亡しているという十分な証拠がある場合、裁判所は死亡推定命令を発行します。それ以外の方法として、本人が最低3カ月行方不明で親戚やよく連絡を取り合っている人から何も言っていない場合、裁判所は PGT が別の適任者を行方不明者の財産管理人として選任する場合があります。裁判所に死亡推定命令を発行してもらえるか、または弟さんの財産を管理する管理者を選任してもらえるかについては弁護士と相談してください。別の選択肢として、PGT に管理人の役目をしてくれるように頼むこともできます。

援助を求められる機関

私には弁護士がいません。遺言状や遺産の管理などについて相談できる場所はありますか？

相談できる場所のいくつかは次の通りです。

- 弁護士照会サービス (Lawyer Referral Service) にお問い合わせいただくと、最寄りの弁護士を紹介してくれます。遺言状と遺産の専門に扱っている弁護士を紹介してくれるように依頼します。初回の相談を 30 分手配できます。Tel 604.687.3221 またはフリーダイヤルで 1.800.663.1919 へ。
- セルフヘルプ・ガイドブックがオンラインで利用できます。最寄りの図書館にも出版物が用意されています。
- **The People's Law School**
- **法学部の学生による法的助言プログラム(Law Students Legal Advice Program):**
UBC 604.822.5791、UVIC 250.385.1221 または www.thelawcentre.ca
- **Justice Access Centres**
- **ClickLaw**
- **公証人** (単純な遺言状の作成)
- 検認書類、検認料については**裁判所サービスの Web サイト**へ。
- 特定の遺産がすでに BC 州で管理されているかどうかを知りたいときは、**裁判所サービスオンライン [Court Services Online]**で検索できます。詳細または関連書類の閲覧や受領には費用が掛かる場合があります。
- 故人が遺書を登録していたかどうかを探すには **BC 人口統計局 [BC Vital Statistics Agency]**の遺言登記所へお問い合わせください。
- 出生証明書、死亡証明書、婚姻証明書の発行を受けるには、**BC 人口統計局 [BC Vital Statistics Agency]**へお問い合わせください。
- CPP 退職年金、CPP 死亡給付金、障害給付金、生存者給付金など、遺産や、生存している配偶者もしくは子に給付されるカナダ年金制度給付金については**カナダ年金制度所得補償プログラム [Canada Pension Plan Income Security Programs]**へお問い合わせください。
- 州の葬儀サービスプログラムの詳細はサービスカナダへお問い合わせください。サービス BC は最寄りの社会開発・社会革新省の出張所をご紹介しますので、そちらで「葬儀サービスプログラム」を依頼してください。